

### 目次

第26回研究発表大会のお知らせ	1p	第13回大会優秀発表賞	16p
大会日程表	4p	第6回ポスターセッション賞	16p
講演プログラム	5p	機器展示	16p
特別セッション	12p	委員会報告	16p
ハンズオンセッション	13p	学会からのお知らせ	17p
チュートリアルセッション	14p	学会後援行事等のお知らせ	17p
第26回研究発表大会ポスターセッション	14p	事務局からのお知らせ	17p

## 第 26 回研究発表大会のお知らせ

大会実行委員会 委員長 井上 亮

第 26 回地理情報システム学会研究発表大会は、2017 年 10 月 27 日（金）に、せんだいメディアテークにて、28 日・29 日（土・日）に、宮城大学大和キャンパスにて開催いたします。本年度も通常の研究発表（講演、ポスターセッション）に加え、多彩なセッション企画（シンポジウム、ハンズオンセッション）などのプログラムを予定しています。皆様の奮ってのご参加をお待ちしています。

研究発表大会の詳しい内容は、後述のプログラムをご覧ください。ただし、掲載のプログラムは 8 月下旬現在のもので、学会当日までに変更の可能性があります。最新のプログラムは、学会ホームページ及び大会会場の掲示をご覧ください。

なお、2017 年度より、講演発表・ポスター発表の発表者（第一著者）には、測量 CPD 学習プログラムのポイントが付与されます。大会で発表した場合、(1)「GIS 上級技術者」への申請や、(2)「測量系 CPD 学習プログラム」への登録が可能です。希望者は、大会当日に受付までお申し出下さい。

日時： 2017 年 10 月 27 日（金）

場所： せんだいメディアテーク  
（宮城県仙台市青葉区春日町 2-1）

- ・この会場で開催されるセッションは、入場無料です。
- ・受付開始時間は、正午です。

日時： 2017 年 10 月 28 日・29 日（土・日）

場所： 宮城大学 大和キャンパス  
（宮城県黒川郡大和町学苑 1 番地 1）  
※駐車場有（無料）

- ・受付開始時間は、両日ともに午前 8 時 30 分です。28 日朝は、特に受付が混雑いたします。受付を通らずに会場に入れる事前登録のご利用をお勧めいたします。
- ・大会当日、学食は営業していません。事前登録でお弁

当を予約していない方は、ご自分でご用意いただくか、近くの宮城県図書館（会場から徒歩 10 分）や泉パークタウンタピオ（同 15 分）内のレストランをご利用ください。  
・各口頭発表の持ち時間は、発表 15 分、質疑 5 分です。時間厳守をお願いいたします。PC は発表者各自でお持ちください。貸出はありません。必要な方は、アダプターもご用意ください。

また、講演者は、セッション開始前に会場にて機器動作確認をお済ませ下さい。

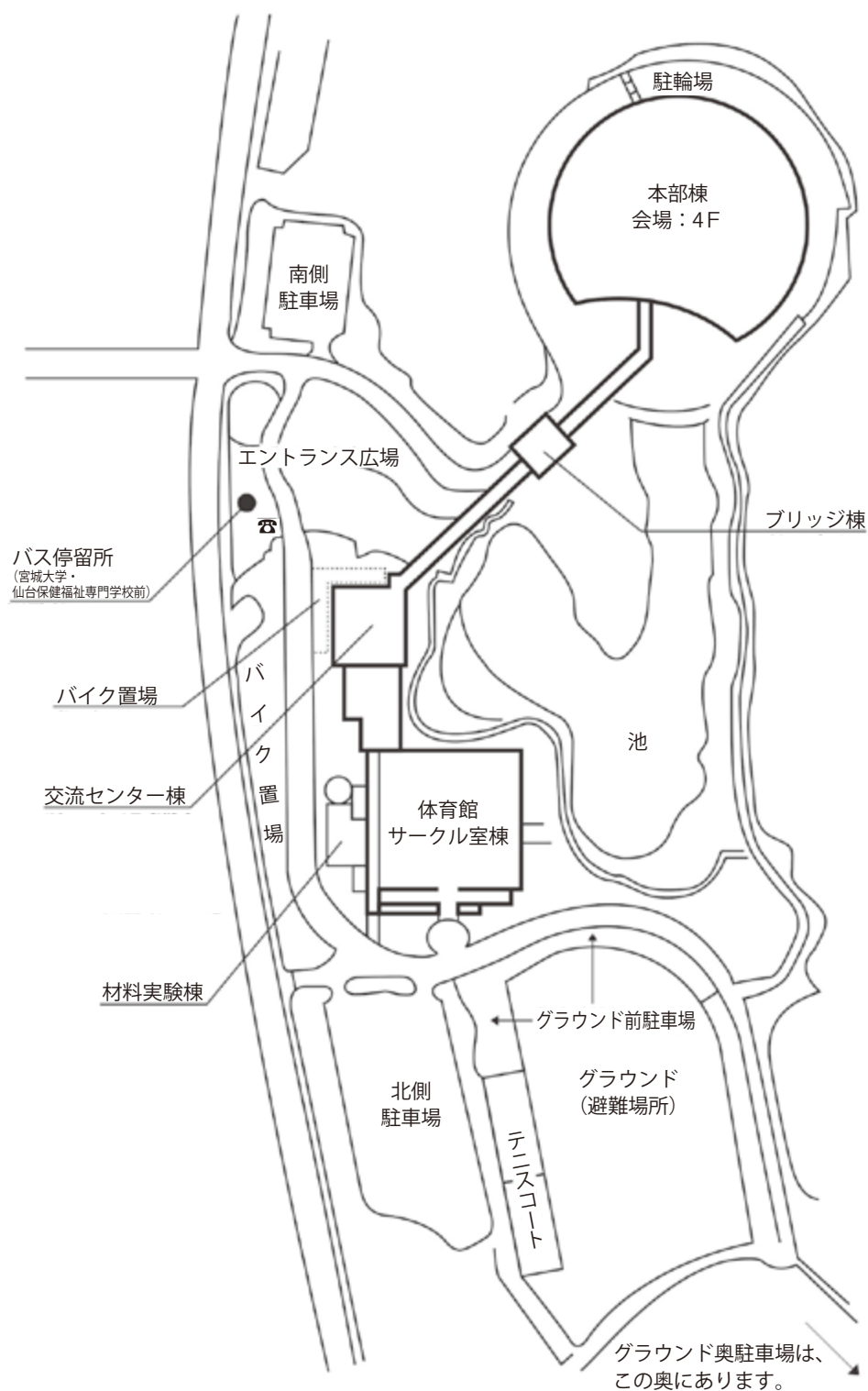
・ポスターセッションは、2 日間を通じて実施し、両日の昼にコアタイムを設けております。大会いずれかの日に発表者は、ポスターの前で質疑応答にご対応下さい。また、不在時用に感想を寄せていただくメモや回収用袋等の設置もお勧めします。ポスターは、A0 の縦サイズに収まる範囲でお願いします。

懇親会会場： ハーネル仙台  
（宮城県仙台市青葉区本町 2-12-7）  
※大会会場から懇親会会場まで  
懇親会参加者専用バスを運行

懇親会日時： 2017 年 10 月 28 日（土） 19:00 ～ 21:00  
参加費 ※企画セッションのみの参加は無料です

		事前登録	当日受付
学術大会 （講演論文 集 CD-ROM 代込み）	正会員，または， 賛助会員枠の参加者	4,000 円	6,000 円
	学生会員	3,000 円	4,000 円
	非会員	7,000 円	8,000 円
	高校生以下，または 70 歳以上	無料 （年齢を証明するものを ご呈示下さい）	
懇親会	懇親会参加費	6,000 円	7,000 円

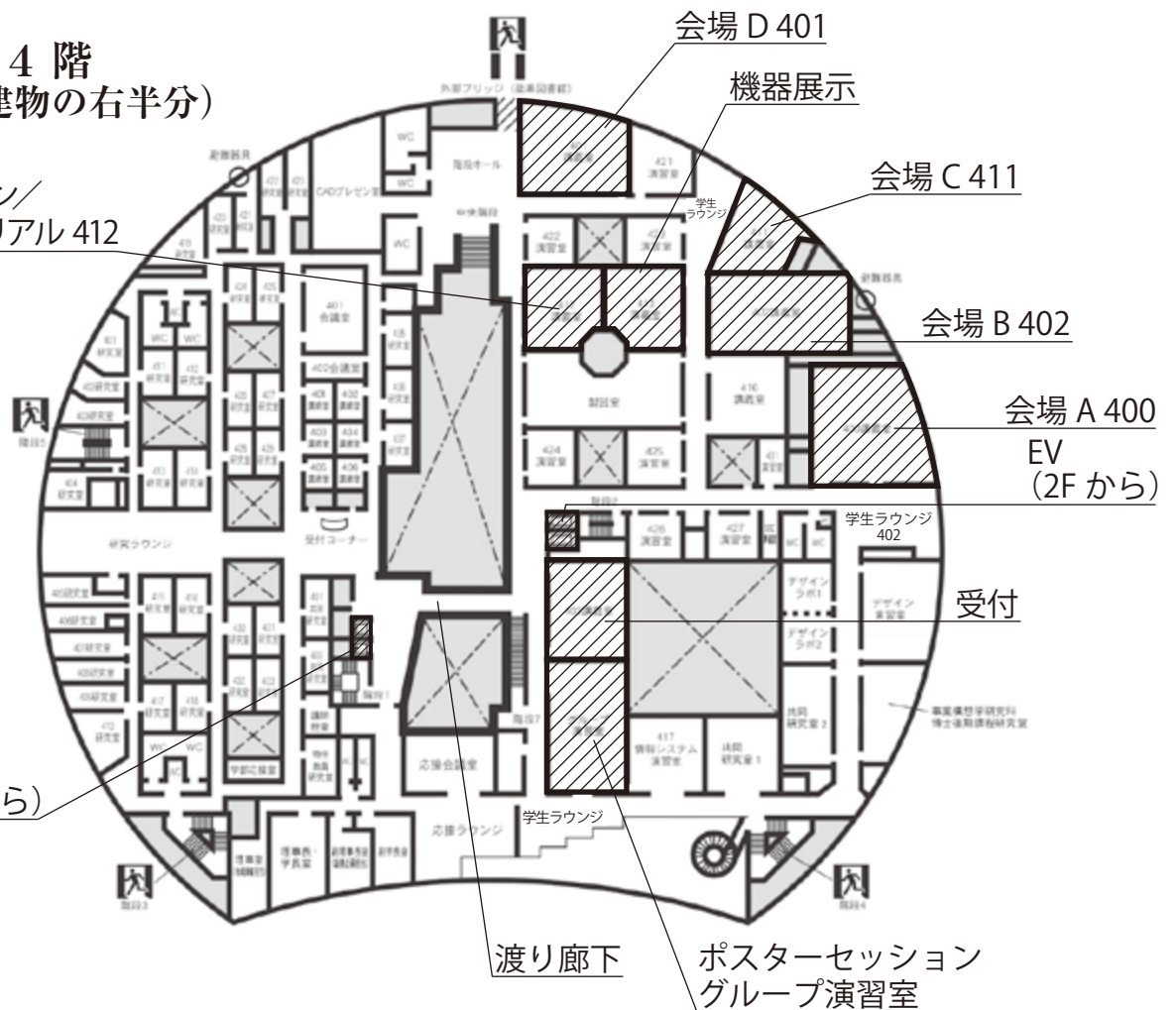
## 建 物 配 置 図 宮城大学大和キャンパス



## 本部棟 4 階 (会場は建物の右半分)

ハンズオン/  
チュートリアル 412

EV  
(1F から)



# 第26回研究発表大会 大会日程表

2017年9月1日現在

※企画セッション（灰色で塗られているセッション）： 参加費無料

## 第1日目 10月27日（金） せんだいメディアテーク

	会場（せんだいメディアテーク）
12:20-13:50	【企画】 IoT×GISによるサイバー空間と物理空間の融合
14:10-15:40	【企画】自治体分科会 東日本大震災における自治体GISを考える
16:00-18:50	【企画】第11回マイクロジオデータ研究会 「地域創生と空間情報のリアル～今何が出来て、何が出来ていないのか？～」

## 第2日目 10月28日（土） 宮城大学 大和キャンパス

	会場A 400	会場B 402	会場C 411	会場D 401	会場E 412	グループ演習室
9:00-10:40		不動産価格分析	【9：20開始】 観光・景観	【9：40開始】 歩行者	【ハンズオン】 OpenStreetMap マッピングパー ティ in 宮城大学	ポスター展示
11:00-12:40	【企画】GISCA 特別セッション 「地方創生のた めにGISができる こと」	点分布・集積	データ取得 ・作成	交通		
12:40-13:20 (昼休み)						
13:20-14:00						ポスターセッ ション
14:00-16:00	【企画】多様化 するGIS教育～ ウェブGIS、 FOSS4G、オー プンデータ～	自然・環境	自治体 ・維持管理	【14：40開始】 施設配置	【ハンズオン】 OpenDroneMap ハンズオン	ポスター展示
16:20-18:20		災害（避難）	時空間データ・ システム開発	人口・地域分析		
18:20-19:00	懇親会会場への移動（大会会場から懇親会会場まで、懇親会参加者専用バスを運行）					
19:00-21:00	懇親会（学会賞の授賞式を含む）					

## 第3日目 10月29日（日） 宮城大学 大和キャンパス

	会場A 400	会場B 402	会場C 411	会場D 401	会場E 412	グループ演習室
9:00-11:00	【企画】 GISとARを組み 合わせた地理教育	災害 (被害把握)	3Dデータ	居住・土地利用	【ハンズオン】 SfM写真測量に よる簡単マッピ ング	ポスター展示
11:00-11:40						ポスターセッ ション
11:40-12:20 (昼休み)						
12:20-14:00	【企画】 今後の地域の情 報システム×市 民×まちづくり のあり方	災害 (防災・減災1)	経済取引	安心・安全	【チュートリアル】 ArcGIS Proを体 験してみませんか？	ポスター展示
14:20 (会場C 14:00)-16:00	空間解析	災害 (防災・減災 2)	【14：00開始】 ボランティア データ・オーブ ンデータ	教育	【チュートリアル】 スマートフォン で簡単現地調査	
16:10-16:30	閉会式 (優秀発 表賞の表彰を含む)					

## 第26回研究発表大会 講演プログラム

(2017年9月1日現在)

10月28日(土) 9:00-10:40

会場A 400	会場B 402	会場C 401	会場D 403	会場E 412	グループ演習室
	不動産価格分析 司会：堤 盛人	観光・景観 司会：藤田 秀之	歩行者 司会：伊藤 史子		
	浸水深と不動産取引価格下落の関係：ハリ ケーン・カトリナの高潮被害を例に 大津 颯, 井上 亮	【9:20開始】	【9:40開始】		
	大都市圏における人口 密度と地価と通勤流動 との相互関係 -東京大 都市圏の事例- 神田 兵庫, 磯田 弦	観光行動からみた景観 の分析と評価 大崎 雄治, 吉川 眞, 田中 一成	【9:40開始】		
	深層学習を用いて地域 内のアパート・マン ションを同一基準で賃 料推定し地図上で可視 化する試み -人工知 能は緯度,経度から地域 性を学習するかー 小林 裕治	ツイートデータを用い た徳島市中心部の地域 イメージに関する研究 渡辺 公次郎, 辻岡 卓	心理的ストレス概念に 基づく歩行者モデルを 用いた建築平面計画の 評価 本間 ありさ, 大佛 俊泰, 金子 弘幸	【ハンズオン】 OpenStreetMap マッピングパー ティ in 宮城大学 企画: 西村 雄一郎	ポスター展示
	DID法による過去の鉄 道廃線が地価に与えた 影響の分析 川久保 慎二, 瀬谷 創	位置情報付きソーシャ ルメディア等を用いた 観光地域ブランドの評 価 鈴木 英之	大学キャンパス広場 における歩行者属性別 の移動特性 山田 百合子, 大佛 俊泰, 金子 弘幸		
	京都地籍図を用いた大 正期における地価の時 空間分析 青木 和人, 矢野 桂司, 中谷 友樹	ユニバーサルツーリス ム安心システムの社会 実装に関する考察 阿部 昭博, 狩野 徹, 工藤 彰	景色の変化から捉える 街路空間の魅力 西畑 光, 田中 一成, 吉川 眞		

10月28日（土） 11:00-12:40

会場A 400

会場B 402

会場C 401

会場D 403

会場E 412

グループ演習室

<p>【企画セッション】 GISCA特別セッション 「地方創生のためにGIS ができること」 企画: 大伴 真吾</p>	点分布・集積 司会：瀬谷 創	データ取得・作成 司会：阿部 昭博	交通 司会：薄井 宏行	<p>【ハンズオン】 OpenStreetMap マッピングパー ティ in 宮城大学 企画: 西村 雄一郎</p>	<p>ポスター展示</p>
	位置・方向情報付き写真群によるホットスポット抽出のための視線のクラスタリング手法	海岸における行方不明者および遺留品搜索のためのGNSS受信機の精度評価	交通量調査史料を用いた旧東京市中心部のOD交通量推定		
	藤田 秀之, 相楽 翔太, 大森 匡, 新谷 隆彦	古屋 聡, 米澤 千夏, 渡邊 学, 園田 潤, 金澤 靖	石川 和樹, 中山 大地		
	電話帳データを用いた時系列ホットスポット分析	クラウドソーシングを活用した写真資料（古写真）の地理情報等の同定方法の検討とその課題－京都市電のデジタルアーカイブ写真を事例として－	インドにおける長期プローブデータを用いたタクシーの営業行動に関する分析		
	森岡 渉, 貞広 幸雄, 岡部 篤行	高橋 彰, 河角 直美, 矢野 桂司, 山路 正憲, 山本 俊平, 佐藤 弘隆, 今村 聡	坂田 理子, 金杉 洋, Ashutosh Kumar, 関本 義秀		
	探索的空間データ解析による日本の産業集積と共集積の分析	衆議院小選挙区のポリゴンデータ及び統計データの作成	大規模商業施設へのアクセシビリティと買い物利便性における 公共交通の効果		
	Rim Er-Rbib, 堤 盛人	西澤 明	徐 千里, 嚴 先鏞, 鈴木 勉		
	時空間領域の形状複雑度設定に基づく点事象集積検出手法の開発	鉄道設備位置の簡易計測ソールの開発	都営バスの目的別利用と時間帯別・頻度別利用の関連分析		
	木元 拓志, 井上 亮	高田 佳, 中山 忠雅, 松本 康寿, 徳田 浩一郎, 安井 肇	伊藤 史子, 佐藤 理久斗, 小根山 裕之		
	空間スケール横断型の点分布記述指標群	複数地点からの常時画像モニタリングによる都市空間上の飛行物体の検出と分類	地域内ODフローを考慮した地域公共交通システムにおけるバス・デマンド交通併用の効果分析		
	貞広 幸雄	祖父江 英謙, 福島 佑樹, 樫山 武浩, 関本 義秀	長谷川 大輔, 鈴木 勉		

10月28日（土） 13:20-14:00

ポスターセッション

10月28日（土） 14:00-16:00

会場A 400

会場B 402

会場C 401

会場D 403

会場E 412

グループ演習室

<b>【企画セッション】</b> 多様化するGIS教育 - ウェブGIS、FOSS4G、 オープンデータ - 企画: 相 尚寿	自然・環境 司会：松岡 真如	自治体・維持管理 司会：青木 和人	施設配置 司会：鈴木 勉	<b>【ハンズオン】</b> OpenDroneMap ハンズオン 企画: 岩崎 亘典	ポスター展示
	耕作放棄地の空間特性 に関する実証的研究 李 露露, 川向 肇, 今西秀幸, 岩崎 浩	機械学習と空間情報を用いた、道路管理における維持管理水準の抽出 前田 紘弥, 関本 義秀, 瀬戸 寿一, 樫山 武浩, 小俣 博司	【14:40開始】		
	GISを用いた農業気象データの利用基盤システムの開発 佐々木 優太, 南野 謙一, 後藤 裕介, 渡邊 慶和	中心市街地における屋外広告物の誘導規制の考察 ～京都を対象として～ 岸川 明弘, 吉川 真, 田中一成	【14:40開始】		
	マカッサル市特別開発地域における生態学的機能評価による開発計画の定量的評価 吉田 真子, 三谷 泰浩, 池見 洋明, Poppy Indrayani	GISを活用した道路維持管理支援システムの開発 西岡 隆暢, 有吉 亮, 佐土原 聡	高速道路インターチェンジの利用圏の分析 - 一般化ボロノイ図を応用して - 服田 帆乃香, 奥貫 圭一		
	都市街路における光環境のモデル化 竹内 修人, 田中 一成, 吉川 真	地理空間情報を活用した道路苦情要望処理システムの構築 岡島 裕樹, 三谷 泰浩, 池見 洋明, 林田 拓都	保育所新設位置推定のための通勤行動上の時空間制約に基づく需要分析手法の設計と評価 原田 利江子, 中島 円, 神武 直彦		
	気象シミュレーション結果を用いた高速道路規制の発生予測に関する研究 小野 雅史, 柴崎 亮介	点検データを用いた早期劣化橋梁のリスク評価に関する一考察 小川 福嗣, 近田 康夫	Median Share Ratioを用いた介護福祉施設配置の評価方法の提案 束原 功哉, 山本 佳世子		
		公図における地番ラベル配置問題の解決手法について 坂元 恭一, 小林 裕治	兵庫県下における精神科心療内科等の立地点に関する空間特性の分析 肖 飛, 川向 肇		



10月28日（土） 16:20-18:20

会場A 400

会場B 402

会場C 401

会場D 403

会場E 412

グループ演習室

<p>【企画セッション】 多様化するGIS教育 - ウェブGIS、FOSS4G、 オープンデータ - 企画: 相 尚寿</p>	災害（避難） 司会：阪田 知彦	時空間データ・システム開発 司会：関本 義秀	人口・地域分析 司会：花岡 和聖	<p>【ハンズオン】 OpenDroneMap ハンズオン 企画: 岩崎 亘典</p>	<p>ポスター展示</p>
	観光都市における疑似的津波集団避難に関する移動軌跡データ分析 奥野 祐介, 塩崎 大輔, 橋本 雄一	複合現実を用いた時空間情報システムの構築 牧野 隆平, 山本 佳世子	東日本大震災における復旧・復興の早期回復要因の推定手法に関する検討 佐藤 大誓, 小川 芳樹, 秋山 祐樹, 柴崎 亮介		
	津波避難ビルの階段上昇を含む避難行動シミュレーション - 釧路市橋北地区を対象とした基礎的検討 - 深田 秀実, 橋本 雄一, 沖 観行	編年時間参照系モデルによる曖昧な時間属性に対する問合せ方式の実装 村尾 吉章, 森本 晋, 清野陽一, 藤本 悠, 玉置 三紀夫	複数の人口データの統合による都市内滞留者・移動者の時空間分布推定 早坂 遼, 大佛 俊泰, 沖 拓弥		
	津波浸水の時間経過を考慮した建物ごとの避難可能性の空間分析 - 北海道苫小牧市を事例として - 川村 壮, 橋本 雄一	時空間データベースシステムによる随時更新型カーナビゲーションと高精度道路データ応用 角本 繁, 吉川 耕司, 小笠原 茂宏, 畑山 満則	地域の生活環境が出身地への移住意向に及ぼす影響 - 現住地と出身地の生活環境評価や各項目の重視度に着目して - 関口 達也, 林 直樹, 杉野 弘明, 寺田 悠希		
	大地震時における地域特性や断水状況が避難所の混雑度に及ぼす影響 荻野 光司, 大佛 俊泰, 沖 拓弥	変化を伴う応用スキーマとインスタンスの記述法の検討 太田 守重	中国における地級・県級行政区統計を用いた地域構造分析 坪井 望太郎		
	道路構造の違いに着目した歩車錯綜の避難効率評価 若林 建吾, 鈴木 勉	時間概念の整理と関数を用いた曖昧な時間属性の実装方法の検討 藤本 悠	首都圏大規模開発地を対象とした地域の持つ特徴量抽出ならびに定量化の為の研究 前田 翠, 関本 義秀		
		クラウドコンピューティング環境における空間情報サービス実装の試み 嘉山 陽一, 柳下 大, 北島 理司, 須藤 毅, 大伴 真吾			

10月28日（土） 19:00-21:00 懇親会@ハーネル仙台（学会賞の表彰を含む）



10月29日（日） 9:00-11:00

会場A 400

会場B 402

会場C 401

会場D 403

会場E 412

グループ演習室

<div>【企画セッション】</div> <div>GISとARを組み合わせ</div> <div>た地理教育</div> <div>企画: 伊藤 悟, 山本佳世子</div>	災害（被害把握） 司会：沖 拓弥	3Dデータ 司会：瀬戸 寿一	居住・土地利用 司会：村上 大輔	<div>【ハンズオン】</div> <div>SfM写真測量に</div> <div>よる簡単マッピ</div> <div>ング</div> <div>企画: 内山 庄一郎</div> <div>・ 早川 裕弐</div>	ポスター展示
	空間的相互作用モデル を用いた東日本大震災 における活動地別死亡 率の推計	大規模三次元点群デー タを用いた文化遺産の VR体験システムの構築 に関する研究 浜田 侑輝, 曾 鑫,	表計算ソフトを用いた 都市の空間計画立案支 援シートへのデータ入 出力機能の実装		
	小松 謙, 磯田 弦	荒木 俊輔, 碓崎 賢一, 向井 智久, 石井 儀光	相 尚寿, 片桐 由希子		
	被災地からの写真付災 害通報を活用した災害 状況可視化システムの 提案	「GIS3Dモデルによる Cyber Physical City System のためのプラッ トフォーム構築の試み ②」（研究会ポータル の運用と課題）	スマートフォンを活用 した空き家等の現地調 査		
	小野 慎平, 碓崎 賢一, 荒木 俊輔	谷 光清, 佐藤 裕一, 佐土原 聡	伊藤 優, 魚谷 咲良, 高橋 慧		
	大地震により損傷した 鉄筋コンクリート造建 築物の三次元点群デー タによる壁面損傷性状 評価手法に関する研究	GIS 3Dモデルによる Cyber Physical City System のためのプラッ トフォーム構築の試み③	デジタル電話帳を用い た空き家分布推定手法 の検討		
	平河 拓也, 曾 鑫, 荒木 俊輔, 碓崎 賢一, 向井 智久, 石井 儀光	佐藤 裕一, 佐土原 聡	秋山 祐樹, 駒木 伸比古, 大崎 圭祐, 仙石 裕明, 六信 孝則, 杉田 暁		
	大地震により損傷した 鉄筋コンクリート造建 築物の三次元点群デー タによる残留変形計測 法に関する研究	3D Tilesを用いた効率 的な3次元都市空間デー タの作成と表示	都市構造のモニタリン グを目的とした空き家 分布の広域推定モデル について		
	朝田 拓照, 曾 鑫, 荒木 俊輔, 碓崎 賢一, 向井 智久, 石井 儀光	福島 佑樹, 関本 義秀, 瀬戸 寿一	小野 裕基, 植松 恒, 熊谷 樹一郎		
	鉄筋コンクリート造建 築物の三次元点群デー タを利用した地震後の 損傷状況の図面の作成 手法に関する研究	3次元都市モデルを用い た機械学習による観光 写真撮影位置推定手法 の試み	大阪府吹田市における 共同住宅単位での年 齢・世帯構成の長期的 変化に関する分析		
	行徳 直光, 曾 鑫, 荒木 俊輔, 碓崎 賢一, 向井 智久, 石井 儀光	田邊 快登, 佐藤 俊明	桐村 喬		
	大地震時におけるSfM を活用した建築物被害 図の迅速な作成方法の 実用化に向けた検証	ポリゴン縮小処理によ る3次元地形モデルの 自動生成	モバイル空間統計サマ リーデータの大字レベ ル居住地の推定方法		
	阪田 知彦, 岩見 達也	村瀬 孝宏, 杉原 健一	瀧澤 重志		
10月29日（日） 11:00-11:40					ポスターセッ ション

10月29日（日） 12:20-14:00

会場A 400

会場B 402

会場C 401

会場D 403

会場E 412

グループ演習室

<p>【企画セッション】</p> <p>今後の地域の情報システム×市民×まちづくりのあり方</p> <p>企画: 関本義秀, 瀬戸寿一</p>	災害（防災・減災1） 司会：深田 秀実	経済取引 司会：磯田 弦	安心・安全 司会：佐藤 俊明	<p>【チュートリアル】</p> <p>ArcGIS Proを体験してみませんか？</p> <p>企画: 土田 雅代</p>	ポスター展示
	特定緊急輸送道路の沿道建築物耐震化とアクセシビリティ評価	事業所情報を含む大規模企業間取引データと大規模人流データを用いた地域間資本流動の推定	Web公開情報を用いた街頭犯罪に関する時空間的分析の試み		
	岸本 まき, 大佛 俊泰, 廣川 典昭	山本 洋平, 秋山 祐樹, 原篠 豪太, 柴崎 亮介	張 博童, 川向 肇		
	オープンソースライブラリを用いた津波浸水に関する時間発展の可視化	企業間取引データと事業所データを用いた地域間資金流動の推定	地理的犯罪予測の手法間比較 ―日本型犯罪予測手法の構築にむけた検討―		
	塩崎 大輔, 橋本 雄一	篠原 豪太, 秋山 祐樹, 柴崎 亮介	大山 智也, 雨宮 護		
	非構造格子を用いた浸水シミュレーションにおけるGISの役割	大規模小売店舗の出店が既存店舗の売上げに与える影響に関する実証的検証	スノーリゾートにおけるGPS履歴を活用した動線把握と誘導方法の検討		
	畑山 満則, 青木 和人	泊 将史, 瀬谷 創	松原 剛, 金杉 洋, 柴崎 亮介		
	オープンデータ化された防災関連空間情報を活用する防災ウェブアプリ「ハザードチェッカー」の開発		AEDマップの効果的活用と普及評価に関する研究―鹿児島県姶良市を例に―		
	有馬 昌宏, 田中 健一郎, 亀井 達樹		鶴成 悦久, 市園 成一郎, 溝口 豊幸, 庄村 幸輝		
	南海トラフ巨大地震を想定した四国地域内緊急輸送道路選定に関する事例研究		災害時と平常時を想定した巡回支援アプリケーションの応用について		
	柳川 竜一, 三好 凌介, 岡本 孝裕		木村 将, 大佛 俊泰, 沖 拓弥		

10月29日（日） 14:20 (会場Cのみ 14:00)-16:00

会場A 400

会場B 402

会場C 401

会場D 403

会場E 412

グループ演習室

【14:00開始】

		ボランティアデータ・オープンデータ 司会：石井 儀光 クラウド川 commons による河川・流域名の可視化システムの構築			
空間解析 司会：熊谷 樹一郎	災害（防災・減災 2） 司会：畑山 満則	原 雄一	教育 司会：山本 佳世子	【チュートリアル】 スマートフォンで簡単現地調査 企画：土田 雅代	ポスター展示
使いたい公衆トイレを探するためのトイレ属性推定と可視化アプリケーションの検討 小川 芳樹, 松原 剛, 小野 雅史, 柴崎 亮介	大地震時の地域住民による延焼阻止活動に関するシミュレーション分析 沖 拓弥, 大佛 俊泰	ボランティアな地理空間情報の品質評価に関する一考察 山下 潤, 岩崎 亘典, 西村 雄一郎, 瀬戸 寿一	GitHubによるGISの実習用オープン教材の試験運用 山内 啓之, 小口 高, 瀬戸 寿一, 早川 裕式		
電気自動車の消費電力による道路ネットワークの評価と設計 茗荷 魁斗, 高松 瑞代	GIS及びMMSと様々な建物データを活用した「減災都市づくり」への試み 白永 浩史, 宮野 裕子, 小堀 裕貴, 渡部 雄太	市民のQOL向上に向けたオープンデータの提供方法にまつわる一考察 川向 肇, 多田 功, 水野 あすか	大学生のアクティブ・ラーニングを支援する「まちづくりマップ」の開発 笹谷 康之, 吉川 敦文, 宮内 隆行		
道路延長と街区総数 薄井 宏行	すまいの耐震化の普及・支援のためのジオデモグラフィックスの活用 上杉 昌也, 矢野 桂司	オープンストリートマップの道路データ品質評価と地域間比較 金杉 洋, 瀬戸 寿一, 関本 義秀, 柴崎 亮介	準天頂衛星システム対応版『聞き書きマップ』の設計 原田 豊, 稲葉 信行, 上野 勝彦, 松岡 繁		
The importance of "scale" in spatially varying coefficient modeling: a comparative study 村上 大輔, Paul Harris, Binbin Lu, 中谷 友樹	X-band MPレーダ雨量情報による平成26年広島豪雨災害の動的雨量解析 西尾 雅弘, 森 正寿	ボランティア地理情報（VGI）のデータ改善に向けた投稿情報の傾向分析：OpenStreetMapにおけるNotes機能を事例に 瀬戸 寿一, 西村 雄一郎, 岩崎 亘典, 金杉 洋	日本版Map Warperの構築と活用 矢野 桂司, 鎌田 遼		
		G空間機能を拡張したデータプラットフォームの開発 柳下 大, 今井 優, 北島理司, 嘉山 陽一, 大伴 真吾			

10月29日（日） 16:10-16:30

閉会式（優秀発表賞の表彰を含む）	
------------------	--

## 特別セッション

※せんだいメディアテークおよび会場 A (400 講義室) で開催の企画セッションは、参加費無料です。

### 【IoT×GIS によるサイバー空間と物理空間の融合】

オーガナイザー： 厳網林

27 日（金）12：20～13：50／せんだいメディアテーク

世界は IoT (Internet of Things) によって現実空間 (Real Space) と仮想世界 (Cyber space) が融合し、リアルタイムな GI システム、GI サイエンス、GI サービスが実現されようとしています。GIS 学会は 2016 に「IoT と GIS 分科会」を設置し、技術動向と社会応用を調査しています。このセッションは、サイバー空間と物理空間を融合させる要素技術と情報基盤について、IoT×GIS の技術動向と学術研究、社会応用の課題を検討します。

### 【東日本大震災における自治体 GIS を考える】

オーガナイザー： 青木和人

27 日（金）14：10～15：40／せんだいメディアテーク

東日本大震災から 6 年を経て東北は、復興から次のステップへ移りつつあります。

GIS は、様々な地域情報や行政情報を活用した地域コミュニケーション基盤として、平時だけでなく、災害発生から復興対応にも的確に対応できるものです。特に住民情報を積極的に活用して市民の満足度を高めるという「東北発」の注目すべき取り組みも始まっています。

本セッションは、復興～地方創生・これからの地域づくりに向けた自治体職員や、復興・防災・地方創生を支えた地元コンサルタントの方などを話題提供者としてお招きして、GIS の活用による効果、導入や運用の課題、今後の展望について話題提供とディスカッションを行います。

### 【第 11 回マイクロジオデータ研究会「地域創生と空間情報のリアル～今何が出来て、何が出来ていないのか？～」】

オーガナイザー： 秋山祐樹

27 日（金）16：00～18：50／せんだいメディアテーク

我々は、2011 年に「マイクロジオデータ研究会」を発足させ、マイクロジオデータの普及と利活用について産官学の有識者を中心に議論を行って来ました。「マイクロジオデータ (MGD)」とは、位置情報や時間情報を持つ時空間的に高精細な（例えば建物や人単位）データや統計の総称のことを言います。MGD は、既存の各種統計・空間データでは実現し得なかった、時空間的にきめ細やかな分析や計画支援等の利活用が期待されています。

昨年で研究会発足から 5 年目を迎え、本研究会は MGD に関連した研究だけでなく、「実社会での活用」にフォーカスを当てた活動にシフトしつつあります。そこで、第 11 回となります今回は「地域創生と空間情報のリアル」と題し、様々な空間情報を活用した地域創生に関する活動を産官学の有識者の皆様からご講演頂きます。さらに、同活動を進めていく中で「今何がどこまで出来るのか」、そして「今何がど

うして出来ないのか」ということをご紹介頂き、空間情報を活用して地域創生を進めていく上での課題と今後取り組むべき活動について議論を深めたいと考えています。

### 【GISCA 特別セッション

「地方創生のために GIS ができること」】

オーガナイザー： 大伴真吾

28 日（土）11：00～12：40／会場 A (400 講義室)

国立社会保障・人口問題研究所によると、日本の人口は、2015 年国勢調査による 1 億 2709 万人から、2065 年には 8,808 万人と推計され、高齢化率は、2015 年の 26.6%から、2065 年には 38.4%へと上昇するとのことである。

さらに今日、東京の人口一極集中はとまる気配がない。この傾向が続けば、地方の人口は減少し続けることになり、地方創生はより困難になると考えられる。そこで、今回は「地方創生のために GIS ができること」をテーマにすえてディベートを行う。

具体的には、以下に示す二つの立場を想定する。

- ・東京への人口集中を是認した上で、地方創生を考えるべき
- ・東京への人口集中を抑制し、地方に人口を分散させるべき

そして、それぞれの立場をとるグループを作り、GIS 技術者の観点でアイデアを出し、両者で議論を展開する。

### 【多様化する GIS 教育

－ウェブ GIS, FOSS4G, オープンデータ－

オーガナイザー： 相尚寿

28 日（土）14：00～18：20／会場 A (400 講義室)

地理情報システムが普及し、かつ多様な空間データが廉価もしくは無料で利用できる環境が整備されつつある現在、多様な場面で GIS 関連の教育が実施されるようになってきた。それは必ずしもかつての地理教育の延長として高機能な GIS の理論と実践を扱うものであるとは限らず、ウェブ GIS による情報収集と共有を目指したもの、オープンデータやフリーソフトの利活用に主眼をおいたもの、ビッグデータの解析や可視化を行うものなど多様化している。空間情報の収集や表示が行えるデバイスも専用ソフトの入ったパソコンに限らず、タブレットやスマートフォンにまで拡大している。

本セッションでは、理学、工学、人文社会系など多様な分野の学生を対象にした GIS 教育あるいは業務内容に特化した実践力が求められる実務での GIS 研修の最新動向を共有し、多様な受講者や多様な作業環境の中での GIS 教育でいかなる工夫が行われているかを探る。

### 【GIS と AR を組み合わせた地理教育】

オーガナイザー： 伊藤悟 山本佳世子

29 日（日）9：00～11：00／会場 A (400 講義室)

高等学校で 2022 年度以降、必修教科目として開設される「地理総合」では、GIS の活用がより重要になる。しかし、GIS の活用について、学校現場に不安がないわけではない。

そこで、容易に GIS を利用し、かつ効果的な授業が展開できる方法の 1 つとして、GIS と AR (拡張現実) 技術の組み合わせに関心を寄せ、本セッションでは、その授業実践の試みやシステム開発について、次のような報告をもとに意見・情報交換を行う。

- 1) 伊藤 悟, 井田仁康  
「地理教育における AR (拡張現実) 技術の有用性—位置情報型 AR に焦点をあてて—」
- 2) 久島 裕, 伊藤 悟, 鶴川義弘, 秋本弘章  
「GIS と AR を組み合わせた地理教育(1)—福井県立武生高等学校での実践例—」
- 3) 大西宏治, 秋本弘章, 鶴川義弘, 伊藤 悟  
「GIS と AR を組み合わせた地理教育(2)—富山高等専門学校射水キャンパスでの実践例—」
- 4) 秋本弘章  
「GIS と AR を組み合わせた地理教育(3)—獨協大学の教職課程における教材開発実践—」
- 5) 鶴川義弘, 齋藤有季, 伊藤 悟  
「地理・環境・防災教育に使える位置情報型 AR アプリの開発」
- 6) 山本佳世子, 牧野隆平  
「地理教育におけるバーチャル時空間情報システムの利活用」

## 【今後の地域の情報システム×市民×まちづくりのあり方】

オーガナイザー： 関本義秀 瀬戸寿一  
29 日 (日) 12 : 20~14 : 00 / 会場 A (400 講義室)

近年、IoT・スマートシティ等、技術的には様々なものが出ているが、地方自治体等、地域のステークホルダー等を巻き込むようなデータ、システムを使った興味深い取組や、国内外のトレンドはどのようなものがあるだろうか？

以下の対談形式で進めていく。

- ・「国内外のシビックテック・スマートシティの取組と地方間の連携」  
大西宏治 (富山大) × 瀬戸寿一 (東京大)
- ・「市民協働型レポートちばレポの展開と地域の IoT」  
蒔苗耕司 (宮城大) × 東修作 (Georepublic Japan)
- ・「都市計画の現場とツールのあり方」  
増田聡 (東北大) × 関本義秀 (東京大)

## ハンズオンセッション

【OpenStreetMap マッピングパーティ in 宮城大学】  
オーガナイザー： 西村雄一郎  
28 日 (土) 9 : 00~10 : 40 会場 E(412 講義室)

オープンな地理情報に対する社会的な必要性が高まる中、それらを市民が自ら作成する VGI (ボランティアな地理情報) への注目が高まっている。この企画では、GIS 学会のハンズオンセッションとしては初めて、VGI の世界的・中核的プロジェクトのひとつである OpenStreetMap のデータ作成・

編集に関する実習を「OpenStreetMap マッピングパーティ in 宮城大学」と銘打ち、実施する。

「マッピングパーティ」とは、ある特定の地域において、フィールドワークや利用可能なさまざまなデータによる情報収集を行い、それを地図化する一連の流れを実践し、地図作成に関する知識の共有を行う市民の集まり・イベントを指す言葉である。今回は、宮城大学大和キャンパスとその周辺地域を対象としてマッピングパーティを実施し、wiki 型の地図作成に関するフィールドワークとデータ編集の実習を行う。

定員 20 名、事前申込不要です。

持参品：

- ・ウェブブラウザ (safari, firefox, chrome) のインストールされた PC (OS は問いません)
- ・お持ちであれば、フィールドワーク用に GPS ロガーやロギングアプリをインストールしたスマートフォン、デジカメや筆記用具をお持ちください

また、学会会場とその周辺を対象としたフィールドワークも行いますので、歩きやすい服装、靴等でご参加ください。

## 【OpenDroneMap ハンズオン】

オーガナイザー： 岩崎亘典  
28 日 (土) 14 : 00~18 : 20 会場 E(412 講義室)

ドローンの普及により手軽に高解像度の空中写真の入手が可能となり、植生や土地利用の把握や変化の評価、地震災害時の地表面変動の定量的評価などの災害時の活用などが進められている。

そこで、本セッションでは、これらの空中写真をこれらの分析に必要なオルソ化画像や DSM (Digital Surface Model) へと変換するための一連の手順について実習を行う。

実習にあたっては、主にオープンソースソフトウェアである OpenDroneMap を使用する。

OpenDroneMap は、オルソ化画像の生成に必要な一連の処理を一つのソフトウェアの上で行うことができることが利点である。一方で、ソフトウェアを実行するために、Docker と呼ばれる仮想環境を整備する必要があり、難易度が高くなっている。

そこで本実習では、そうした実行環境の構築も含めて実習を行い、受講者が自身の利用環境下でオルソ画像や DSM を生成できることを目的とする。

定員 20 名、

要事前申込 (申込先: mizutani@ecoris.co.jp)

持参品：以下の環境を満たすノートパソコン

- ・OS は、Windows10 64bit Professional または HOME
- ・PC メモリ 4G 以上
- ・作業領域として 20GB ほど HDD の空き容量があること
- ・可能であればモバイル WiFi ルータをご持参ください

事前準備：

- ・ハンズオンの実施に必要なファイルを事前にダウンロードしておくこと (約 4GB)
- ・Docker および QGIS が事前にインストールしてあることが望ましい
- ・インストール手順はおおよびダウンロード手順は、申込者に事前にお知らせする予定



### 【SfM 写真測量による簡単マッピング】

オーガナイザー： 内山庄一郎 早川裕弐  
29 日（日）9：00～11：00 会場 E(412 講義室)

SfM (Structure from Motion) 写真測量とは、複数の写真から被写体の立体形状を復元する技術です。UAV を用いた公共測量マニュアル（案）（国土地理院，2017）にも取り上げられるように、特に、無人航空機（ドローン）で撮影した写真からオルソモザイク画像（写真地図）や DSM（数値表面モデル）を作成する作業に調和的な技術です。

ハンズオンでは、この技術の概要と使いこなすコツを解説し、写真の撮影からオルソモザイク画像の出力までの一連の作業を行います。地形データを自分で作る時代の到来です。ぜひ、ご参加ください。

ノート PC、デジタルカメラ（スマホ可）、撮影データを PC に移す手段（ケーブル等）をご用意ください。

事前申込は、特に必要ありませんが、配布資料が欲しい方は次のアドレスまでご連絡ください。

uchiyoama@bosai.go.jp

### チュートリアルセッション

#### 【ArcGIS Pro を体験してみませんか？】

オーガナイザー： 土田雅代  
29 日（日）12：20～14：00 会場 E(412 講義室)

最新 GIS デスクトップ アプリケーションである ArcGIS Pro を体験してみませんか？

ArcGIS Pro は、3D 対応、高パフォーマンス(64bit、マルチスレッド対応)、リボンインターフェイスの導入による優れた操作性や ArcGIS Online の連携など、これまで以上に地理空間情報の可視化や分析、共有に有用なアプリケーションになります。業務や研究でさらに作業効率を向上させます。まだ試したことがない方は、是非この機会に触ってみてください！

定員 20 名、要事前申込、申込先は以下です。

土田雅代 (ESRI ジャパン(株)) masayo\_tsuchida@esri.jp  
持参品：ArcGIS Pro がインストールされた PC  
(動作環境 <https://www.esri.com/products/arcgis-desktop/environments/arcgis-pro/>)

※ライセンスがない場合は、ESRI ジャパンにて用意します。申込の際に、その旨お知らせください。

#### 【スマートフォンで簡単 現地調査】

オーガナイザー： 土田雅代  
29 日（日）14：20～16：00 会場 E(412 講義室)

巡検や調査でデータ収集される際にスマートフォンを使ってみませんか？

ArcGIS Online のアプリケーションを使えば、データ収集から共有・分析まで一通りの流れを体験頂きます。

セッション後には、現地調査するには、「あれ？こんなに簡単なの？」と感じていただけること間違いなし！

定員 20 名、要事前申込、申込先は以下です。

土田雅代 (ESRI ジャパン(株)) masayo\_tsuchida@esri.jp  
持参品：iPhone/Android のスマートフォン または  
タブレット PC (タブレットで代用可)

※当日は、インターネットを使いますが、大学のゲストアカウントにて WIFI 利用可能です。

### 第 26 回研究発表大会ポスターセッション

10 月 28 日（土）13：20-14：00／

ポスター掲示時間 9：00-18：20

10 月 29 日（日）11：00-11：40／

ポスター掲示時間 9：00-16：00

投票締切： 10 月 29 日（日）13：00

※ 投票箱は受付横に設置してあります。

1	GIS によるアキアカネの孵化予測日および保全のための水田の中干し延期日の表示	齋藤 四海智, 先崎 悠介, 米澤 千夏, 千葉 克己, 神宮 宇 寛
2	深層学習を用いて地域内のアパート・マンションを同一基準で賃料推定し地図上で可視化する試み ー人工知能は緯度、経度から地域性を学習するかー	小林 裕治
3	グリーンインフラと Eco-DRR に着目した熊本地震の自然災害分析	藤田 直子
4	ネットワークに着目した近世城下町の空間分析	児玉 史, 奥貫 圭一
5	震災時における高層建物教室の避難経路混雑度を推定するシミュレーション分析	山田 和哉, 政金 裕太, 岡部 篤行, 木村 謙
6	農林業センサスを用いた耕作放棄地の空間計量経済分析	鈴木 敬和, 河端 瑞貴
7	道路延長と街区総数	薄井 宏行
8	Web-GIS を用いた統計地理の授業支援システムの構築	塩原 礼, 山本 佳世子
9	パーソントリップを考慮した保育施設の適正配置の評価方法	佐藤 桂祥, 山本 佳世子
10	地理的犯罪予測の手法間比較 ー日本型犯罪予測手法の構築にむけた検討ー	大山 智也, 雨宮 護
11	大学生のアクティブ・ラーニングを支援する「まちづくりマップ」の開発	笹谷 康之, 吉川 敦文, 宮内 隆行
12	市区町村シンボル選定種の全国調査結果の傾向並びに空間的可視化の試行と地域分析への展開 ー市区町村の木・花・鳥・魚 ー	吉川 慎平, 渡部 俊太郎
13	熊本地震被災地におけるランドスケープに関する研究	枝尾 亜斗夢, 藤田 直子, 唐 明暉
14	ECO-DRR の視点から見た複合災害発生場所の土地利用評価ー熊本県を事例としてー	唐 明暉, 藤田 直子, 枝尾 亜斗夢

15	長崎県対馬市厳原町における群倉の類型分析	小林 秀輝, 藤田 直子	33	GISを用いた全国農地ナビのビッグデータ解析	澁木 智之, 磯田 弦
16	GISを活用した共同農園の管理法の利便性に関する研究	倉田 将幸, 藤田 直子, 馬 晨	34	企業間取引データと事業所データを用いた地域間資金流動の推定	篠原 豪太, 秋山 祐樹, 柴崎 亮介
17	GIS based groundwater potential mapping using Frequency Ratio and Shannon's Entropy models in Herat city, Afghanistan	Gesim Nasir Ahmad, 岡崎 威生	35	近世出版図にみる描画された江戸の構図	塚本 章宏
18	「空間統計を用いた訪日外国人観光宿泊クラスター分析：北海道の事例」	羅 雁劼, 河端 瑞貴	36	インドにおける長期プローブデータを用いたタクシーの営業行動に関する分析	坂田 理子, 金杉 洋, Ashutosh Kumar, 関本 義秀
19	交通量調査史料を用いた旧東京市中心部のOD交通量推定	石川 和樹, 中山 大地	37	スノーリゾートにおけるGPS履歴を活用した動線把握と誘導方法の検討	松原 剛, 金杉 洋, 柴崎 亮介
20	地域の生活環境が出身地への移住意向に及ぼす影響 - 現住地と出身地の生活環境評価や各項目の重視度に着目して -	関口 達也, 林 直樹, 杉野 弘明, 寺田 悠希	38	Is there any seasonal trend in restaurants?	服部 恒太, 塚本 章宏
21	準天頂衛星システム対応版『聞き書きマップ』の設計	原田 豊, 稲葉 信行, 上野 勝彦, 松岡 繁	39	オープンストリートマップの道路データ品質評価と地域間比較	金杉 洋, 瀬戸 寿一, 関本 義秀, 柴崎 亮介
22	大地震発生時における月・曜日・時限ごとの帰宅困難学生数を推定するシステムとその適用	小松 美凜, 森岡 渉, 岡部 篤行	40	使いたい公衆トイレを探すためのトイレ属性推定と可視化アプリケーションの検討	小川 芳樹, 松原 剛, 小野 雅史, 柴崎 亮介
23	健康増進を目的とした運動実践支援システムの構築	内藤 奏, 大河原 一憲, 山本 佳世子	41	滋賀県大津市南大萱地区の小字境界の復元と土地利用の変遷の解析	林 珠乃
24	オープンデータを用いたクリエイティブ産業のオフィス集積に関する研究	柴田 史奈, Andrew Burgess, 伊藤 香織	42	暴露人口を考慮した性犯罪被害リスクの算出・可視化の試み:「人の流れ」データを活用して	雨宮 護, 大山 智也
25	介護予防施設へのアクセシビリティと市町村単位の要介護度	小林 優一, 河端 瑞貴	43	数値写真により作成した3次元計測データとオルソ画像の比較検証	山田 翔平
26	海岸における行方不明者および遺留品捜索のためのGNSS受信機の精度評価	古屋 聡, 米澤 千夏, 渡邊 学, 園田 潤, 金澤 靖	44	複数地点からの常時画像モニタリングによる都市空間上の飛行物体の検出と分類	祖父江 英謙, 福島 佑樹, 櫻山 武浩, 関本 義秀
27	集積パターンに着目した商業集積の経済価値評価	松方 溪太	45	関東地方における谷津田の地形的条件と地域分布	David Sprague
28	事業所情報を含む大規模企業間取引データと大規模人流データを用いた地域間資本流動の推定	山本 洋平, 秋山 祐樹, 篠原 豪太, 柴崎 亮介	46	東日本大震災における復旧・復興の早期回復要因の推定手法に関する検討	佐藤 大誓, 小川 芳樹, 秋山 祐樹, 柴崎 亮介
29	時間別滞留人口分布に基づく都市空間構造の把握 - モバイル空間統計の活用 -	花岡 和聖, 中谷 友樹, 矢野 桂司	47	パーソントリップ調査データを活用した駅周辺における人の流れの把握	飯塚 重善, 吉岡 拓哉, 金杉 洋
30	電話帳データを用いた時系列ホットスポット分析	森岡 渉, 貞広 幸雄, 岡部 篤行	48	都市農業の実態と利用ニーズの分析を通じた農ある暮らしの実現に関する研究	馬 晨, 藤田 直子, 倉田 将幸
31	南海トラフ巨大地震を想定した四国地域内緊急輸送道路選定に関する事例研究	柳川 竜一, 三好 凌介, 岡本 孝裕	49	京都地籍図を用いた大正期における地価の時空間分析	青木 和人, 矢野 桂司, 中谷 友樹
32	高知県の施設園芸を対象としたクリーニングクロップの潜在収穫量と処理施設配置のシミュレーション	松岡 真如, 増田 貴則, 長谷 隆仁, 山田 正人, 永禮 英明, 藤原 拓	50	スペースシンタックス理論に基づく道路構造と地域住民のリスク認知との関係	谷端 郷, 村中 亮夫, 中谷 友樹
			51	建物名称に含まれる地名の空間分布について	小池 東紗, 貞広 幸雄
			52	管理不全空き家の傾向と地区特性との対応に関する考察	馬場 弘樹, 樋野 公宏



53	福岡県古賀市新宮町における 3D マップ表示について	外園 慶明, 森山 聡之
54	東洋大学情報連携学部における GIS 教育	横田 達也
55	ホタテガイ養殖漁場における MODIS データを用いたクロロフィル a 濃度推定	関澤 彩真, 米澤 千夏, 高橋 大介, 長澤 一衛, 尾定 誠
56	空間統計を利用した選挙分析	中島 有希大
57	Space-time cube を利用した時空間カーネル密度推定および関連する分析的可視化環境の開発	中谷 友樹
58	災害環境研究から復興まちづくりへ繋ぐ復興・生活環境評価システムの開発	平野 勇二郎, 吉岡 明良, 高木 麻衣, 中村 省吾, 五味 馨, 戸川 卓哉, 辻 岳史
59	大規模イベント開催時における集団向けの集合場所推薦システムの構築	飛鳥井 翔太, 山本 佳世子
60	災害発生時における情報共有を目的としたソーシャルメディア GIS の構築	佐々木 照, 山本 佳世子
61	学力及びその分散を最適化する学区設定方法の研究	山方 大志, 貞広 幸雄

### 第 13 回大会優秀発表賞

学生会員の発表レベル向上を図るため、本年度も「大会優秀発表賞」を設けます。以下の条件を満たす方が対象となります。

- ・ 本学会の学生会員であること（2017 年 7 月 15 日までに事務局に入会届を提出し、今年度までの年会費を完納している者）
- ・ 修士号未修得であること
- ・ 講演の発表者であること

研究（論文）内容や発表技術の優秀者からセッション司会者が受賞候補者を推薦し、学会賞委員会の中に設置される大会発表賞小委員会の議論を経て受賞者を決定します。受賞者数は特に定めません。

受賞者には賞状を後日送付、GISA ニュースレター104 号に氏名と所属を公表します。また、『GIS-理論と応用』Vol. 25-No. 2 に発表要旨を掲載（モノクロ印刷のみ）します。受賞者は、11 月 15 日（水）までに A4 用紙 1 枚の原稿をご提出ください。

### 第 6 回ポスターセッション賞

ポスターセッションでの議論の活性化を図るため、本年度も「ポスターセッション賞」を設けます。ポスターセッション発表者全員が審査対象です。審査方法は、郵送（事前登録）・受付（当日受付）でお渡しする審査用紙をご覧ください。

受賞者には賞状を後日送付し、GISA ニュースレター104 号に氏名と所属を公表します。

また、『GIS-理論と応用』Vol. 25-No. 2 に発表要旨を掲載（モノクロ印刷のみ）します。受賞者は 11 月 15 日（水）までに A4 用紙 1 枚の原稿をご提出ください。

### 機器展示（受付順）

#### ■株式会社古今書院

展示リスト：『参加型 GIS の理論と応用』

『地理情報科学 GIS スタンダード』ほか GIS 関連書籍

展示概要：

GIS 書籍の発行点数ナンバー 1 の出版社です。『参加型 GIS の理論と応用』など GIS の基本図書、「ArcGIS」「QGIS」「MANDARA」など人気の GIS ソフトの活用マニュアルなど、GIS ビギナーからミドルユーザまで利用目的に応じた関連書籍を展示し、すべて 15%引で販売します。出版企画のご相談も大歓迎です。

#### ■ESRI ジャパン株式会社

展示リスト：ArcGIS Desktop / ArcGIS Online /

ESRI ジャパン データコンテンツ

展示概要：

- ・ 次世代デスクトップ GIS である ArcGIS Pro1.4 の機能紹介
- ・ マップの作成・共有・利用を、いつでもどこでも行える環境を提供する ArcGIS Online の活用法
- ・ 平成 27 年 国勢調査のデータを含む ESRI ジャパン データコンテンツの詳細

普段の ArcGIS 製品の利用でお困りの点やご相談も受け付けております。お気軽にお立ち寄りください。お待ちいたしております！

### 【委員会報告】

#### ■ GIS 資格認定協会

【大伴真吾】

7 月 14 日（金）、弘済会館にて GIS 名誉上級技術者記念講演会、贈呈式を執り行い、次の 4 名の方に称号を謹呈いたしました。

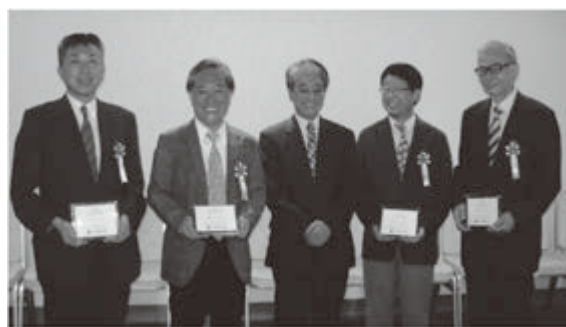
矢野 桂司 氏（地理情報システム学会推薦）

梅干野 晃 氏（日本リモートセンシング学会推薦）

鈴木 厚志 氏（日本地理学会推薦）

菊池 真一 氏（日本地図学会推薦）

（順不同）



当日は、40 名以上の方にご参加いただき、講演会では各氏よりこれまで取り組まれたこと、GIS 研究者・技術者へのメッセージなど、大変貴重なお話をいただくことができました。その後行われた贈呈式では、玉川会長より各氏に証書をお渡しした後に、参加者を交えてご歓談いただき、盛況裏に終了いたしました。

また、GISCA では学術研究発表大会において、10 月 28 日（土）11:00 より、会場 A にて特別セッション「地方創生のために GIS ができること」を開催いたします。奮ってご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

なお、8 月 28 日時点の資格認定者数は以下の通りです。

GIS 名誉上級技術者数 23 名

GIS 上級技術者数 319 名

## 【学会からのお知らせ】

### ■ 次期一般社団法人地理情報システム学会代議員募集のお知らせ

[選挙管理委員長 太田 守重]

現在の代議員の任期が本年12月31日に満了となるのに伴い、本学会定款第16条の定めにより、次期代議員を募集します。代議員への立候補者は正会員に限られます。また、代議員の定員は、定款第15条により30名以上50名以下と定められております。立候補者が50名を超えた場合には選挙を行います。

本学会では、会員全体の中での比率に比して、代議員に若手や女性の方が少ない傾向にあります。多様な意見を反映させることが、学会活動のさらなる活性化に繋がります。是非、積極的な立候補をお願い致します。

次期代議員任期： 2018年1月1日～2019年12月31日

代議員の主な役割：

- ・社員総会への出席（定款17条）
- ・理事及び監事への就任（定款23条）

他に、委員会活動や大会司会者等をお願いします。

立候補受付期間： 2017年10月10日（火）

～10月31日（火）正午

応募方法：

① 氏名 ② 所属

③ 当学会での活動歴（役職等）、又は抱負（200文字以内）

④ E-mail アドレス ⑤ 推薦人氏名と所属（1名）

以上を記載の上、事務局までE-mailでご応募ください。

なお、メールの表題は「代議員立候補」をお願いします。

### ■ IAG' iのご案内

今年のIAG' iは、韓国KAISの20周年式典と併せて開催することになります。

開催日： 2017年11月2日（木）

会場： Daegu Textile Complex（韓国・大邱）

<http://www.dtcomplex.org/>

参加費： GISA正会員 80,000KRW

GISA学生会員 40,000KRW

※ 発表時間は一人20分（15分発表+5分質疑・英語）です。

※ ポスターセッションで発表希望の方は、当日にポスターをお持ちください。

セッション時間内の質疑応答には対応してください。

※ 若手海外派遣スカラシップについて

IAG' i国際シンポジウムにおいて、優れた口頭発表を行った学生会員1人につき、3万円を支給いたします（上位3名まで）。発表は、後日、GISAwabにて行います。

IAG' iについて詳しくは…

[https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSejf3WkiLI BHOrfXjBnNmp1ZstNFCNoJNK066\\_YMQCMXi55kg/viewform](https://docs.google.com/forms/d/e/1FAIpQLSejf3WkiLI BHOrfXjBnNmp1ZstNFCNoJNK066_YMQCMXi55kg/viewform)

## 【学会後援行事等のお知らせ】

### ■ 主催 ■ G空間 EXP02017

主催：G空間 EXP02017 運営協議会（当学会も構成員です）

会期：2017年10月12日（木）～14日（土）

会場：日本科学未来館（東京）

詳しくは… <http://www.g-expo.jp/>

### ■ 後援 ■ GISコミュニティフォーラム in 中部、北海道、関西

主催：ESRI ジャパンユーザ会

日時と会場：

2017年10月3日（火） ウィンクあいち（中部）

2017年10月18日（水） ACU（北海道）

2017年10月25日（水） 梅田スカイビル（関西）

詳しくは…

<https://www.esrij.com/events/gcf/gcf2017-autumn/>

### ■ 後援 ■ FOSS4G 2017 Kyoto. KANSAI

主催：OSGeo 財団日本支部

共催：東京大学空間情報科学研究センター

大阪市立大学大学院創造都市研究科

会期：2017年10月15日（日）および16日（月）

会場：総合地球環境学研究所（京都）

詳しくは… <https://www.osgeo.jp/>

### ■ 後援 ■ ～オープンデータを使って地図を作ろう～

QGIS活用講座（初級編）#3

主催：朝日航洋株式会社

日時：2017年10月27日（金）

会場：TKP ガーデンシティ仙台勾当台（宮城）

詳しくは… <http://peatix.com/event/290138/>

## 【事務局からのお知らせ】

### ■ 事務局休室のお知らせ

学術大会開催に伴い、以下の期間、事務局は休室となります。

メール対応も出来ませんのでご注意ください。

2017年10月26日（木）～30日（月）

### ■ 『GIS-理論と応用-』特集ページ募集

地理情報システム学会では、今後、地理情報システムと地理情報科学に関する最新の学術動向や社会からの要請を踏まえ、論文集『GIS-理論と応用-』にふさわしい内容の特集ページを設けていきたいと考えています。

つきましては、広く会員の皆さまより特集のアイデアを募ることといたしました。

募集期限は設けず、随時応募を受け付けます。ただし、応募資格者は地理情報システム学会の個人会員に限ります。

また、応募された提案書は編集委員会にて審査され、提案が採用された場合、応募者には臨時編集委員をつとめて頂きます。

詳しくは下記の学会webをご覧ください。

<http://www.gisa-japan.org/publications/sp.html>

2017 年 8 月末現在の個人会員 1158 名、 賛助会員 57 社	
賛助会員	
アクリーグ(株)、朝日航洋(株)、アジア航測(株)、アドソル日進(株)、いであ(株)、(株)インフォマティクス、ESRI ジャパン(株)、NTT タウンページ(株)、(株)NTT データ数理システム、愛媛県土地家屋調査士会、応用技術(株)、大阪土地家屋調査士会、(株)オオバ、(株)かんこう、関東甲信越東海GIS 技術研究会、(財)岐阜県建設研究センター、九州GIS 技術研究会、近畿北陸G 空間情報技術研究会、(株)こうそく、国際航業(株)、国土情報開発(株)、(株)古今書院、GIS 総合研究所いばらき、ジェイアール西日本コンサルタンツ(株)、(株)ジオテクノ関西、(株)ジオブラン、(株)昭文社、(株)ジンテック、(株)ゼンリン、(株)ゼンリンジオインテリジェンス、(株)谷澤総合鑑定所、玉野総合コンサルタント(株)、中四国GIS 技術研究会、デジタル北海道研究会、東北GIS 技術研究会、(株)ドーン、長野県GIS 協会、にいがたGIS 協議会、日本情報経済社会推進協会、日本スーパーマップ(株)、(財)日本測量調査技術協会、日本土地家屋調査士会連合会、(財)日本地図センター、パシフィックコンサルタンツ(株)、(株)パスコ、阪神高速技術株式会社、東日本総合計画(株)、北海道GIS 技術研究会、(株)マップクエスト、(株)松本コンサルタント、三菱電機(株)、三菱UFJ リサーチ & コンサルティング(株)、(財)リモート・センシング技術センター 自治体会員 : 経済産業省特許庁、総務省統計局統計研修所、長野県環境保全研究所、福岡県直方市	
学会分科会連絡先一覧	
●自治体：浅野和仁（大阪府富田林市） 事務局：青木和人（おおきgis研究所 Tel 050-5850-3290） E-mail : kazu013057@gmail.com ●ビジネス：高阪宏行（日本大学 Tel 03-3304-2051） E-mail : kohsaka@chs.nihon-u.ac.jp ●防災GIS：畑山満則（京都大学防災研究所 Tel 0774-38-4333） E-mail : hatayama@imdr.dpri.kyoto-u.ac.jp ●土地利用・地価GIS：碓井照子（奈良大学） 事務局：西端憲治（(株)セイコム Tel 0721-25-2728） E-mail : totiriyo-sig@seicom.jp ●時空間GIS：吉川耕司（大阪産業大学 Tel 072-875-3001） E-mail : yoshikaw@due.osaka-sandai.ac.jp	●地図・空間表現：若林芳樹（首都大学東京 Tel 042-677-2601） E-mail : wakaba@tmu.ac.jp ●セキュリティSIG：内布茂充（行政書士 内布事務所 Tel 090-2284-4125） E-mail : spcn87q9@royal.ocn.ne.jp ●FOSS4G：Venkatesh Raghavan（大阪市立大学） 連絡先：嘉山陽一（朝日航洋(株) TEL049-244-4032） E-mail : youichi-kayama@aeroasahi.co.jp ●若手会員分科会：山本佳世子（電気通信大学 Tel 042-443-5728） E-mail : k-yamamoto@is.uec.ac.jp ●IoTとGIS：厳網林（慶應義塾大学 Tel 0466-49-3453） E-mail : yan@sfc.keio.ac.jp
地方支部の連絡先一覧	
<北海道支部> 支部長：小樽商科大学 深田秀実 Tel : 0134-27-5399, E-mail : fukada@res.otaru-uc.ac.jp <東北支部> 支部長：東北大学 井上亮 Tel : 022-795-7478, E-mail : rinoue@plan.civil.tohoku.ac.jp <北陸支部> 支部長：新潟大学 牧野秀夫 Tel : 025-262-6749, E-mail : makino@ie.niigata-u.ac.jp <中部支部> 支部長：中部大学 福井弘道 連絡先：杉田暁（中部大学） Tel : 0568-51-9894（内線 5714）, E-mail : satoru@isc.chubu.ac.jp <関西支部> 支部長：大阪工業大学 吉川眞 連絡先：田中一成（大阪工業大学） Tel : 06-6954-4293, E-mail : gisa@civil.oit.ac.jp	<中国支部> 支部長：広島修道大学 川瀬正樹 Tel : 082-830-1210, E-mail : kawase@shudo-u.ac.jp <四国支部> 支部長：高知大学 松岡真如 Tel : 088-864-5166, E-mail : msykmktok@kochi-u.ac.jp <九州支部> 支部長：九州大学 三谷泰浩 Tel : 092-802-3399, E-mail : gisaku@doc.kyushu-u.ac.jp <沖縄支部> 支部長：琉球大学 町田宗博 E-mail : machida@ll.u-ryukyu.ac.jp 連絡先：澤岨 直彦（特定非営利活動法人沖縄地理情報システム協議会） Tel : 098-863-7528, E-mail : takushi@okicom.co.jp
■ 編集後記 ■ 朝夕涼しいこの頃です。 さて、8 月 29 日午前 6 頃に北朝鮮が発射したミサイルが日本国土を横断し襟裳岬東 1,180km 沖の太平洋上に着弾した。その際、国・メディアが発表したミサイルの飛行経路図を見てみると、発射予測地点と落下予測地点を平面地図上に直線や曲線で結んでの表現などをよく見かけた。この地理空間情報について不正確に取り扱われた。国をはじめメディア関係者に地理空間的思考が欠如していることを今更ながら感じた次第です。ミサイルなどの飛翔体の情報は、国民の自主防衛として関心が非常に高い事象ですから地球の曲率を考慮した 3 D などで正確な情報を提供すべきと考えます。内布茂充	地理情報システム学会ニューズレター 第 103 号 ●発行日 2017 年 9 月 30 日 ■発行 <b>一般社団法人 地理情報システム学会</b> 〒113-0032 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル 4 階 TEL/FAX: 03-5689-7955 E-mail: office@gisa-japan.org URL: <a href="http://www.gisa-japan.org/">http://www.gisa-japan.org/</a> ■ 弥生雑記 ■ 大会会場への移動について、いま一度、ご確認ください。 【タクシーの場合】（人数が揃ったらオススメ） ※ 仙台駅から片道 3,500 円程度、泉中央駅から片道 2,000 円程度。所要時間はそれぞれ約 30 分、15 分で、バスの所要時間の半分程度です。（宮城県内の迎車料金は、基本的に無料） 【バス移動の場合】 ※ 行先は「宮城大学前」です。「宮城大学食産業学部前」「宮城学院前」行に乗車されると大変なことになってしまいます… ※ 仙台駅前の「宮城大学前」行の始発は 7 : 45 です。泉中央駅は、「泉パークタウン」行で「宮城大学経由」のものに乗車してください。始発は 7 : 20 です。 【自家用車・レンタカーの場合】は、宮城大学内の駐車場は無料でご利用になれます。みなさま、お気をつけてお越しください。 きりりと澄んだ空気の中、お目にかかるのを楽しみにしております。（学会事務局）